

資料4 区民意見の収集方法について

1. 意見交換会の定義

本資料における「意見交換会」とは、次の2つの活動の総称です。

- ①区民会議（いきもの作戦会議）： 参加者の対象を限定せずに行う、戦略づくりの主要な意見交換会
- ②グループ別意見交換会： ある属性に参加者を限定して行う意見交換会

2. 意見交換会の目的

- ①戦略に関わる具体的な課題・アクションプランを得る
- ②戦略をつくること、実施することを自分事にしてもらう
- ③生物多様性に関わる区民等の認識を知る

3. 意見交換会の日程と全体スケジュール（案）

作業	H24年度						H25年度											
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
区民会議 (いきもの作戦会議) (3回)	10/20 プレ	11/10 キック オフ			2/3			5/25			8/24							
ピアールイベント (1回)										8/24								
推進委員会				1/23			●					●			●			
庁内策定委員会			12/25			●		●			●						●	
パブリックコメント 地区別説明会													●					

4. 区民会議（いきもの作戦会議）

4.1 開催日時

平成 25 年 2 月、平成 25 年 5 月及び 8 月に実施します。

各回は、一般区民が気軽に参加できることを想定し、土日のいずれかで、午後に設定します。

【日程】

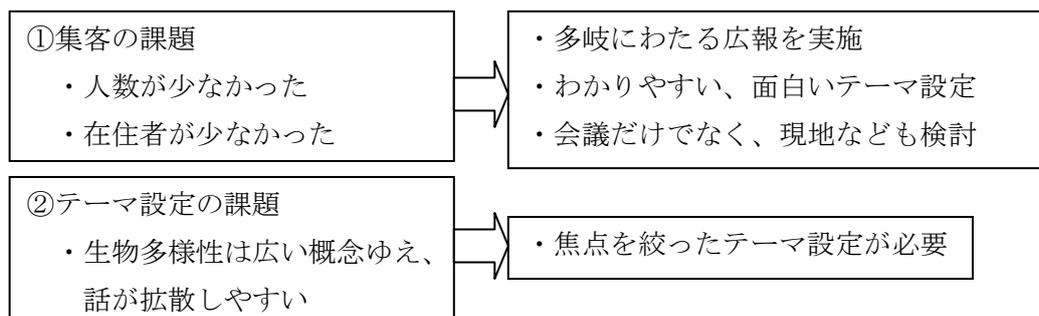
- 第 1 回 2 月 3 日（日） 13：30～16：30
- 第 2 回 5 月 25 日（土） 13：30～16：30
- 第 3 回 8 月 24 日（土） 13：30～16：30

4.2 区民会議（いきもの作戦会議）のゴール

「港区で生物多様性を考える際に、区民にとっての課題、目標、アクションプランに関する意見が出ていて、それらが整理されている状態」です。

各回で出た意見を、事務局が整理し、区民に提示し、戦略に反映します。

4.3 10 月～11 月の実施結果から得た課題と対策案



4.4 方針

これまでの区民会議（いきもの作戦会議）やアンケート調査結果より、「生物多様性という言葉がわかりにくく、とっつきにくい」といった意見がみられました。

このため、区民が身近に感じ、また関心の高い分野を切り口として、生物多様性とのつながりを考えられるような場の設定をします。

そのための切り口として、これまでの区民会議（いきもの作戦会議）やアンケート結果等から、①区民にとってわかりやすく身近で、生物多様性との関わりを考えることができるテーマを 3 つ抽出しました（下表）。

これらを区民会議（いきもの作戦会議）における主要なテーマとし、話合いを重ねることで、様々な角度から生物多様性に関わる意見交換ができます。

テーマ	話題として想定されることの例
食	自然の恵み、他地域との連携、消費活動における配慮、安全性
子育て・子ども	子育て環境としての身近な自然のあり方、環境教育、保全再生、様々な人との関わり
働きかた	心のゆとり、生物多様性の恵み、ライフスタイルの転換、エネルギー、ゴミ、温暖化

4.5 進め方

4.4 方針に示した3つのテーマ（食、子育て・子ども、働きかた）を中心とした分科会を設定し、2月、5月、8月の3回で、じっくりと話し合いを重ねていきます。

話し合いに必要な要素は、①目標、②課題、③行動計画の3つです。概ねこの順番で意見交換を進めることを想定していますが、話し合いの流れの中で柔軟に対応することとします（下図）。また、戦略の作成段階に合わせた意見交換の時間も設けることを想定しています（下表）。



図 話し合いの流れイメージ

表 戦略の作成段階に合わせた意見交換のテーマ

月	テーマ
2月	将来像について考えよう
5月	骨子案の方向性
8月	行動計画の方向性

5. グループ別意見交換会

対象として、事業者、教育者、外国人を想定しています。これらの対象には、これまでにアンケート調査やヒアリング調査を行っていますが、状況に応じてグループ別意見交換会を実施することを検討します。

6. ピアールイベント

パブリックコメントへの参加を主な目的として、平成25年の10月上～中旬に、ピアールイベントを予定しています。